

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 195 事業名 重度心身障害児者医療費助成事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	2	障害のある人の自立と社会参加の推進
基本方針	2	経済的自立への支援

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	和歌山市重度心身障害児者医療費の支給に関する条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	松村 維人 (435-1060)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		福祉医療費	
	大事業		福祉医療事業	
事項	重度心身障害児者医療費助成事業			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	重度心身障害児者に対して医療費等を助成することにより、医療費の負担を軽減するとともに、健康に寄与して福祉の増進を図ることを目的とする。	和歌山市に在住する身体障害者手帳1～3級、療育手帳A又は特別児童扶養手当1級で、所得制限内の者が受けた保険診療に係る費用のうち自己負担分を助成する。 (身体障害者手帳3級は入院時のみの助成) 原則として、県内で受診した場合は現物支給として医療機関等に医療費を支払い、県外で受診の場合は、受給者からの申請により償還払いとする。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		医療費の助成	医療費の助成	医療費の助成	医療費の助成	医療費の助成

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,104,387	1,070,563	1,040,667		1,040,667		1,040,667		1,040,667	
伸び率 (%)	-	-	-5.8%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	7,471	9,206	9,205	9,205		9,205		9,205	
	非常勤職員	3,983	3,702	221	221		221		221	
	小計	11,454	12,908	9,426	9,426		9,426		9,426	
国庫支出金										
県支出金	473,876	478,001	449,552		449,552		449,552		449,552	
市債										
その他	70,710	69,106	3,674		3,674		3,674		3,674	
一般財源(税等)	559,801	523,456	587,441		587,441		587,441		587,441	
所要人数	常勤職員	1.01	1.23	1.23	1.23		1.23		1.23	
	非常勤職員	0.64	1.97	0.10	0.10		0.1		0.1	
主な予算内訳	扶助費1,017,186千円 審査支払手数料15,134千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	受給者数(県単)	年度目標値				7,824	6,977		
		実績値				6,977			
	単位 人	全体目標値				89.2%			
		全体目標達成度							
成果指標	助成件数(審査支払)	年度目標値				363,398	320,353		
		実績値				347,798			
	単位 件	全体目標値				95.7%			
		全体目標達成度				100.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>県の制度に沿って、重度心身障害児者に対して医療費等を助成することにより、医療費の負担を軽減するとともに、健康に寄与するため、現状を維持し継続して行きたい。</p>
「見直し」「改善」案	